

第121回 医療技術者研修会

『認知症を支えるまちづくりと介護職の役割』

－ 高齢者のまち大牟田市の取り組みを紹介しながら －

主催 財団法人東京保健会 病体生理研究所

わずか半世紀で超高齢社会（高齢化率 21%）となった国は、先進国の中には存在しません。超高齢社会の問題は、後期高齢者が増えること、一人暮らし老人が増えること、認知症高齢者が増えることであり、年間160万人～170万人の死者が出ることです。

認知症高齢者の数は250万人から360万人になると推定され、認知症は最もポピュラーな疾患となります。これだけの患者さんを医師だけでみることは到底困難であり、全ての医師だけでなく、他の職種も認知症の医療・介護に精通しなければなりません。

しかし、私たちの多くが所属する事業所は病院中心の事業所であり、高齢者、高齢認知症の患者さんを診てはいるものの、認知症のBPSD（この言葉自体がまだあまり知られていない）の対応にのみ追われ、ややもすれば向精神薬で抑え込もうとしている場合が圧倒的と思われます。今回の講演ではそれら問題点と改善方法について、ともに学びましょう。

日時	2011年11月5日（土）午後2時30分～午後4時40分
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟3F・304号室
講師	山田 智（やまだ さとし）先生
対象	介護福祉職・ほか各医療職（事務系を含みます）
定員	80名（申込は先着順・定員で締め切ります。あらかじめ御了解ください）
参加費	無 料

申し込み方法

- 1、下記の申込書にもれなく御記入のうえ、FAXまたは郵送でお申し込み下さい。
（記入もれなど不備がある場合には、受講票が送付できなくなります。必ず全て御記入ください）
- 2、申込者あて開催日前までに受講票をFAXで送付します。当日必ずお持ち下さい。
- 3、締め切り後の申込者へは速やかに「締切済」通知をFAXで送付します。悪しからず御了解ください。

※ ※ ※ 下記の各項すべてにご記入のうえお申し込みください ※ ※ ※

2011年11月5日（土）『認知症を支えるまちづくりと介護職の役割』研修会受講申込書

勤務施設名	職 種	申込者氏名（フリガナも）
施設住所 〒（ ）		
TEL （ ） FAX （ ）		

申し込み先 〒173-0025 東京都板橋区熊野町 47-11

（財）東京保健会 病体生理研究所 医療技術者研修企画係

問い合わせ用TEL 03(3956)4120 申し込み用FAX 03(3956)4102

講 師

山田 智 先生

全日本民医連副会長 介護福祉部部長 立川相互病院リハ科

略 歴 1983年 埼玉医科大学卒、福岡親仁会入局
現 職等 1988年 川崎医科大学リハビリテーション科研修
 1990年 親仁会米の山病院リハビリテーション科
 1999年 みさき病院院長 2000年 老健くろさき苑施設長
 2010年 立川相互病院リハビリテーション科

著書論文等 『高齢者医療実践ハンドブック』
 （保健医療研究所，全日本民医連編，2010年）

所属学会等 日本リハビリテーション医学会 専門医・認定臨床医

会場案内図 国立オリンピック記念青少年総合センター「センター棟」3F・304号室

（〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号）

〔電話〕 03(3469)2525（代表）

交通機関

小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

地下鉄東京メトロ千代田線 代々木公園駅〔代々木公園方面出口〕下車 徒歩約10分

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、申込書に記載頂いた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては左記「医療技術者研修企画係」へ御連絡をお願い致します。

